

### 1 単元の目標

- (1) ベースボール型の行い方を理解するとともに、ボールを打つ攻撃と隊形をとった 守備によって、簡易化されたゲームをすることができるようにする。
- (2) ベースボール型のルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
- (3) ベースボール型に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったり することができるようにする。

### 2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①ベースボール型の簡易化されたゲームの行い方について言ったり、書いたりしている。</p> <p>②静止したボールやゆっくりとした速さで投げられたボールを打つ攻撃や、捕球したり送球したりする守備などのボール操作ができる。</p> <p>③チームとして守備の隊形をとったり走塁をしたりするボールを持たない時の動きができる。</p>	<p>①誰もが楽しくゲームに参加できるように、プレイヤーの人数、コート of 広さ、プレイの制限、得点の仕方などのルールを選んでいる。</p> <p>②自己やチームの特徴を確認して作戦を選んでいる。</p> <p>③守備の隊形について工夫したことを他者に伝えている。</p>	<p>①ベースボール型の簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>②ルールやマナーを守り、仲間と助け合おうとしている。</p> <p>③ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。</p> <p>④ゲームの勝敗を受け入れようとしている。</p> <p>⑤ゲームや練習の中で、仲間の考えや取組みを認めようとしている。</p> <p>⑥ゲームの練習の際に、用具を片付けたり場の整備をしたりするなど、安全に気を配っている。</p>

### 3 単元指導計画

	学習内容	ねらい
第1時	オリエンテーション	学習の見通しをもつ
第2時	<p>○ゲームにつながる運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチボール</li> <li>・ターゲットバッティング</li> </ul> <p>○簡易化されたゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2イニングまで</li> <li>・バッターが2順するまで 等</li> </ul>	<p>基本的な技能を身につける</p> <p>本ゲームに必要な動きに慣れる</p>
第3時	<p>○ゲームにつながる運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチボール</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットバッティング</li> <li>○簡易化されたゲーム</li> <li>・2イニングまで</li> <li>・バッターが2順するまで 等</li> </ul>	
第4時	攻撃の工夫を考えてゲーム	チームの特徴に合った攻め方を考え、ゲームを楽しむ。
第5時	守備の工夫を考えてゲーム	チームの特徴に合った守り方を考え、ゲームを楽しむ。
第6時	攻守の工夫を考えてゲーム	
第7時	リーグ戦	
第8時	リーグ戦を楽しむ	学習の成果を発揮してゲームを楽しむ

#### 4 準備運動(ボール慣れの運動・個人)

<ul style="list-style-type: none"> <li>①的に向かって投げる</li> <li>②的に向かって打つ</li> <li>③ベースランニング</li> <li>④下から上に投げてキャッチ</li> <li>⑤○分間で何回キャッチボールができたか。(5m。10mなど、距離は発達段階で)</li> </ul>
--

#### 5 基礎感覚作り(メインゲームを楽しむための動きの習得・ペアやチーム)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ったボールをキャッチして、ファーストへ投げる。</li> <li>・キャッチボール(ノーバン、ワンバン)</li> <li>・狙った所に打つ練習←作戦を立てるために狙ったところへ打つ技能は必要?</li> <li>・合図に合わせて自分の近くのベースに入る遊び。←ベースカバーの意識付け</li> <li>・ランナーをはさむ遊び。(ランダウンプレー)←</li> <li>・ペアになり、限られた時間(1分程度)で何回キャッチボールできるかを競う遊び。← 正確に投げることを意識付ける。</li> </ul>
---

#### 6 ルール

- ・1チーム5人。
- ・ボールを選べる。(ティーボール用のボール等)
- ・ノーヒットゾーンをノーカウントにして、もう一度攻撃ができる。
- ・三塁なしの二塁まで。
- ・1イニングに入る点数の上限を決める。
- ・全員で「タイム」と言う。

## 7 配慮が必要とされる児童の姿、場面、困り感

- ・ボールが前に飛ばない。
- ・キャッチができない。
- ・取ったボールをどこに投げたらいいか分からない。
- ・ルールがわからない。
- ・ボールを取ることが怖い。

## 8 運動が苦手な児童への配慮

- ・ボールの大きさを変える
- ・キャッチが苦手な児童にはバケツのフタを渡して、フタに当てたらアウトにする
- ・手が痛い児童へ→手袋をはめる。ボールを握らせてボールを打つ。
- ・グローブの着用を認める。
- ・前もってどこに投げるか声かけ確認や取ったらファーストを基本とする。